

フェリス女学院大学大学院

2025年度 学生募集要項

大学院入学試験

(学内推薦・秋期日程・春期日程)

人文科学研究科

国際交流研究科

音楽研究科

博士前期課程

〈人文科学研究科・国際交流研究科〉

修士課程

〈音楽研究科〉

博士後期課程

〈人文科学研究科・国際交流研究科〉

目 次

■ 入学試験概要	1	IV. 合格発表・入学手続	14
出願資格		1. 合格発表	
		2. 入学手続	
I. 入学試験詳細	3	V. 学生納付金	15
1. 学内推薦		1. 博士前期課程	
2. 秋期日程		2. 修士課程	
3. 春期日程		3. 博士後期課程	
		4. その他	
II. 出願	8	VI. 入学手続後の入学辞退	17
1. Web出願の流れ		VII. 修了要件等	17
2. 必要書類		1. 博士前期課程・修士課程	
3. 出願上の注意		2. 博士後期課程	
4. 書類提出上の注意		VIII. 試験会場	18
III. 受験票・受験上の注意	12	■ 三つのポリシー	19
1. 受験票の交付			
2. 試験当日の注意			
3. 試験室・試験時間における注意			
4. 不正行為			
5. その他			

個人情報及び提出書類の取扱いについて

出願及び入学手続に当たってお知らせいただいた個人情報及び提出書類（以下、当該個人情報とする。）は、出願処理、入学試験実施、合格発表、入学手続、入学後の学生生活全般にわたる指導や相談、本人宛調査、個人が特定されない形式・方法（匿名加工情報）による統計資料の作成・利用（学部等カリキュラムの検討、入学者選抜方法の検討等）、各種事務連絡及びこれらに付随する事項を行うために利用します。

なお、これらの業務の一部を、フェリス女学院大学から当該業務の委託を受けた業者において行う場合があります。業者委託に当たっては、個人情報の安全管理が図られるよう、委託業者に対する必要かつ適切な管理を行います。

また、当該個人情報を、その他の目的で第三者へ提供するのは、次の場合のみといたします。

- (1) 本学入学後、各種連絡通知等に使用するために本学学生組織、奨学会、同窓会、維持協力会に提供する場合
- (2) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合

フェリス女学院大学大学院 2025年度 入学試験概要

募集課程・研究科・専攻・入学定員

課程	研究科	専攻	入学定員
博士前期	人文科学	英語英米文学	6名
		日本語日本文学	6名
		コミュニケーション学	6名
	国際交流	国際交流	6名*
修士	音楽	音楽芸術	6名
博士後期	人文科学	英語英米文学	2名
		日本語日本文学	3名
		コミュニケーション学	2名
	国際交流	国際交流	2名

* 長期履修学生の募集人員は若干名

入学時期 2025年4月

《国際交流研究科について》

(1) 男女共学制

フェリス女学院は日本最初の女学校として、建学以来、女子教育の拡充に努め、女性の自立と男女平等の実現に尽くしてきました。しかし大学院レベルにおいては、現実社会における女性解放理論の有用性を検証したり、ジェンダー枠組の形成過程や問題点について研究するためには、男性側からのアプローチを交えた相互の意見交換も必要だと考えています。そこで国際交流研究科では、女子大内に男女共学制大学院を設置し、ジェンダー関係の授業科目を豊富に揃えて、女性と男性がともに学び合う場を提供しています。(なお、男女共学制の導入は国際交流研究科に限定されており、他研究科及び学部の講義の受講は、女性に限られています。)

(2) 夜間及び土曜日開講

社会人が勤務を続けながら大学院で学ぶ機会を拡大するため、本研究科では昼夜開講制を採用しています。昼間、夜間、土曜のいずれの授業も受講することができるフレキシブルなカリキュラム体制を整えています。

(3) 長期履修制度（博士前期課程のみ）

博士前期課程は、社会人院生の着実な学習計画の展開に配慮して長期履修制度を導入しています。標準修業年限を4年とします。

【注意】 外国籍の受験者が、「長期履修制度」の利用を希望する場合は、出願前に入試課に連絡の上、必ず制度の内容に関する説明を受けてください。

出願資格

[1] 各課程の出願資格

【博士前期課程・修士課程】

人文科学研究科・国際交流研究科〈一般選抜〉

音楽研究科

次のいずれかに該当する女子で、2025年3月31日までに満22歳に達するもの。

国際交流研究科については男子の出願も可とします。

大学院入試（学内推薦）の出願資格については、別に定めます。

- (1) 修業年限4年以上の大学を卒業した者又は2025年3月卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は2025年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（外国大学の日本校のうち、文部科学大臣が指定する課程を修了した者を含む。）
- (4) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修業年限4年以上の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
※短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者等、個別の入学資格審査を必要とする場合は、下記「[2] 個別入学資格審査」参照
- (7) その他本大学院において、修業年限4年以上の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

人文科学研究科・国際交流研究科 〈社会人特別選抜〉

上記出願資格のいずれかに該当し、2025年4月1日現在で、大学卒業後3年の社会的経験を経た者

【博士後期課程】

次のいずれかに該当する女子で、2025年3月31日までに満24歳に達するもの。
国際交流研究科については男子の出願も可とします。

- (1) 修士の学位を有する者又は2025年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者又は2025年3月までに授与される見込みの者（外国大学大学院の日本校のうち、文部科学大臣が指定する課程を修了した者を含む。）
- (3) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (4) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
※大学卒業生等、個別の入学資格審査を必要とする場合は、下記「[2] 個別入学資格審査」参照
- (5) その他本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

[2] 個別入学資格審査

(1) 個別入学資格審査書類

次の①～⑥の書類を、提出期間内に郵送してください。

提出期間

- 〈秋期日程〉2024年9月30日（月）～10月4日（金）必着
〈春期日程〉2024年12月2日（月）～12月6日（金）必着
《提出前に必ず入試課まで問い合わせること。》

提出書類

- ① 個別入学資格審査申請書〈所定用紙〉※入試課に問い合わせた者に送付します。
- ② 出願書類（Ⅱ. 出願を参照）
 - [1] 最終出身学校等の卒業・修了（見込）証明書
 - [2] 最終出身学校等の成績証明書
 - [3] 研究計画書〈所定用紙〉
 - [4] 論文又は研究業績（人文科学研究科・国際交流研究科）
- ③ 専攻分野に関する活動歴及びそれに関する資料（音楽研究科のみ。書式自由。資料はコピー可）
- ④ 専攻分野及び大学院在籍中の履修計画（勤労者・有職者は学業との両立にも言及）（A4サイズ1枚）
- ⑤ 社会における実務経験の内容・経験歴を証明する書類、実務経験に関連して取得した資格に関する書類など（提出は任意。証明書類はコピー可）
- ⑥ 出願する専攻に関わる資格を取得している者は、それを証明する書類（コピー可）

(2) 審査方法

上記資料に基づき総合的に審査します。

※上記提出書類④は、審査の資料としては用いず、研究計画書の補足資料として参考にします。

(3) 審査結果発表

- 〈秋期日程〉2024年10月11日（金）（郵送で本人に通知します。）
〈春期日程〉2024年12月13日（金）（郵送で本人に通知します。）

(4) 正規出願

出願資格を認められた場合、出願期間に入学検定料を振り込み、資格審査書類として提出した上記(1)以外の出願書類を提出してください。

1. 入学試験詳細

1. 学内推薦

(1) 入試日程

博士前期課程
修士課程

研究科	専攻	入試日程			
		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期限 (納付金納入)
人文科学	英語英米文学	Web出願登録期間 2024年10月25日(金) 9:00 ↓ 2024年10月31日(木) 21:00 入学検定料支払期限 2024年10月31日(木) 22:00	11月23日(土)	12月1日(日)	12月6日(金)
	日本語日本文学				
	コミュニケーション学				
国際交流	国際交流	必要書類郵送期限 2024年10月31日(木) 必着			
音楽	音楽芸術				

(2) 選考方法

博士前期課程

研究科	専攻	内容	
人文科学	英語英米文学	書類審査 口述試験	口述試験は専門や研究テーマに関する質問を含む。
	日本語日本文学		
	コミュニケーション学		
国際交流	国際交流		

修士課程

研究科	専攻	内容	
音楽	音楽芸術	書類審査 口述試験	口述試験は専門や研究テーマに関する質問を含む。

(3) 試験時間割・試験会場

博士前期課程

研究科	専攻	試験時間割		試験会場
人文科学	英語英米文学	14:20 14:30～	集合 口述試験	緑園 キャンパス
	日本語日本文学			
	コミュニケーション学			
国際交流	国際交流			

修士課程

研究科	専攻	試験時間割		試験会場
音楽	音楽芸術	14:20 14:30～	集合 口述試験	緑園 キャンパス

(4) 入学検定料

30,000円

2. 秋期日程

(1) 入試日程

博士前期課程〈一般選抜・社会人特別選抜〉

研究科	専攻	入試日程			
		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期限 (納付金納入)
人文科学	英語英米文学	Web出願登録期間 2024年10月25日(金) 9:00 ┆ 2024年10月31日(木) 21:00 入学検定料支払期限 2024年10月31日(木) 22:00 必要書類郵送期限 2024年10月31日(木) 消印有効	11月23日(土)	12月1日(日)	12月6日(金)

(2) 選考方法

博士前期課程〈一般選抜・社会人特別選抜〉

研究科	専攻	内容	
人文科学	英語英米文学	筆記試験	〈一般選抜〉英語（英和辞書のみ持ち込み可） 〈社会人特別選抜〉英語（英和辞書又は英英辞書持ち込み可）
		口述試験	専門や研究テーマに関する質問を含む。 ※出願時に提出した書類（選考資料等）をもとに行う。

※社会人特別選抜は、口述試験の結果を重視し、総合的に判定する。

(3) 試験時間割・試験会場

博士前期課程〈一般選抜・社会人特別選抜〉

研究科	専攻	試験時間割		試験会場
人文科学	英語英米文学	9:50 10:00～11:30 11:50 12:00～	集合 筆記試験（英語） 集合 口述試験	緑園 キャンパス

(4) 入学検定料

30,000円

3. 春期日程

(1) 入試日程

博士前期課程〈一般選抜〉

博士前期課程〈社会人特別選抜〉(英語英米文学専攻を除く。)

修士課程

博士後期課程

研究科	専攻	入試日程			
		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期限 (納付金納入)
人文科学	英語英米文学	Web出願登録期間 2025年1月14日(火) 9:00 ↓ 2025年1月20日(月) 21:00 入学検定料支払期限 2025年1月20日(月) 22:00	2月24日(月)	2月26日(水)	3月5日(水)
	日本語日本文学				
	コミュニケーション学				
国際交流	国際交流				
音楽	音楽芸術	必要書類郵送期限 2025年1月20日(月)消印有効			

(2) 選考方法

博士前期課程〈一般選抜〉

博士前期課程〈社会人特別選抜〉(英語英米文学専攻を除く。)

研究科	専攻	内容	
人文科学	英語英米文学	筆記試験	①専門科目(英和辞書のみ持ち込み可) ②英語(英和辞書のみ持ち込み可)
		口述試験	卒業論文(参考論文)及び今後の研究計画について*1
	日本語日本文学	筆記試験	①専門科目(日本語学・日本文学に関する問題) ②英語(英和辞書又は英英辞書持ち込み可)
		口述試験	卒業論文(参考論文)及び今後の研究計画について*1
	コミュニケーション学	筆記試験	①専門科目 大問の共通問題に加え、(イ)~(ニ)の4つの分野から数項目を選択する小問がある。 (イ) 心理コミュニケーション (ロ) 社会コミュニケーション (ハ) 言語コミュニケーション (ニ) 文化コミュニケーション ②英語(英和辞書のみ持ち込み可)
		口述試験	卒業論文(参考論文)及び今後の研究計画について*1
国際交流	国際交流	筆記試験	①専門科目 グローバル化と国際交流に関連する問題を複数出題する。このうち、任意の1題を解答する。 ②英語(辞書持ち込み可)*2
		口述試験	レポート(又は卒業論文)及び今後の研究計画について*1

修士課程

研究科	専攻	内容	
音楽	音楽芸術	筆記試験	①小論文 ②英語(英和辞書又は英英辞書持ち込み可)
		口述試験	論文・レポートや資料及び今後の研究計画について*1 ※書類審査、プレゼンテーションを含む。 ※研究計画に関連して、演奏による発表を認める。 (1) 任意のプログラムで10分以内とする。 (2) アンサンブルも可とする。 (3) ピアノ以外の楽器、共演者・伴奏者は各自で用意すること。

*1 出願時に提出した書類(選考資料等)をもとに行う。

*2 日本に永住権を持つ者を除く外国籍の受験者は、日本語を選択し、受験することができる。

ただし、日本語を選択した場合、辞書の持ち込みはできない。また、出身国(地域)の公用語は選択できない。

※社会人特別選抜は、口述試験の結果を重視し、総合的に判定する。

博士後期課程

研究科	専攻	内容	
人文科学	英語英米文学	筆記試験	①専門科目 (イ) 英米文学 (ロ) 英語学 (ハ) 英米の文化と社会 ②英語（英和辞書又は英英辞書持ち込み可）
		口述試験	(イ)～(ハ)の3つの分野から各自の研究分野に 合わせ1分野を選択し、解答すること。 修士論文及び今後の研究計画等について*1
	日本語日本文学	筆記試験	①専門科目（各自の研究分野に関する問題） ②英語（英和辞書又は英英辞書持ち込み可）
		口述試験	修士論文及び今後の研究計画等について*1
	コミュニケーション学	筆記試験	英語（英和辞書のみ持ち込み可）
		口述試験	修士論文及び今後の研究計画等について*1
国際交流	国際交流	筆記試験	英語（辞書持ち込み可）*2
		口述試験	論文及び今後の研究計画について*1

*1 出願時に提出した書類（選考資料等）をもとに行う。

*2 日本に永住権を持つ者を除く外国籍の受験者は、日本語を選択し、受験することができる。

ただし、日本語を選択した場合、辞書の持ち込みはできない。また、出身国（地域）の公用語は選択できない。

(3) 試験時間割・試験会場

博士前期課程〈一般選抜〉

博士前期課程〈社会人特別選抜〉（英語英米文学専攻を除く。）

研究科	専攻	試験時間割		試験会場
人文科学	英語英米文学	9:50	集合	緑園 キャンパス
		10:00～11:30	筆記試験（専門科目）	
	12:20	集合		
	コミュニケーション学	12:30～14:00	筆記試験（英語）	
		14:20	集合	
	14:30～	口述試験		
国際交流	国際交流	9:50	集合	
		10:00～11:30	筆記試験（専門科目）	
	12:20	集合		
	日本語日本文学	12:30～13:30	筆記試験（英語）	
		14:20	集合	
	14:30～	口述試験		

修士課程

研究科	専攻	試験時間割		試験会場
音楽	音楽芸術	9:50	集合	緑園 キャンパス
		10:00～11:30	筆記試験（小論文）	
		12:20	集合	
		12:30～14:00	筆記試験（英語）	
		14:20	集合	
		14:30～	口述試験（書類審査、プレゼンテーション）	

博士後期課程

研究科	専攻	試験時間割		試験会場
人文科学	英語英米文学	9:50 10:00～11:30 12:20	集合 筆記試験（専門科目） 集合	緑園 キャンパス
	日本語日本文学	12:30～13:30 14:20 14:30～	筆記試験（英語） 集合 口述試験	
	コミュニケーション学	12:20 12:30～14:00 14:20 14:30～	集合 筆記試験（英語） 集合 口述試験	
国際交流	国際交流	12:20 12:30～14:00 14:20 14:30～	集合 筆記試験（英語） 集合 口述試験	

(4) 入学検定料

30,000円

II. 出願

1. Web出願の流れ

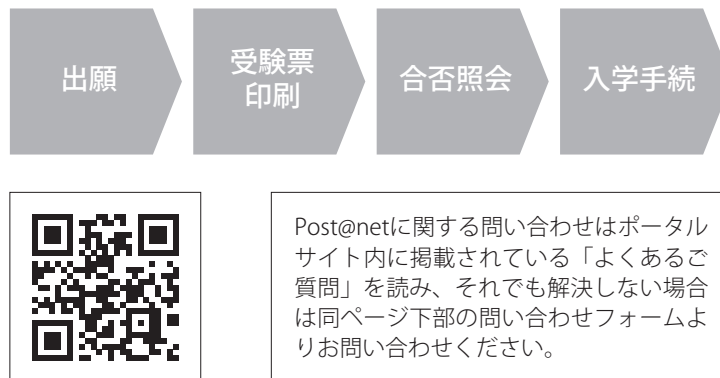
パソコン・スマートフォン等からインターネットを通じて出願登録を行います。

【受験ポータルサイト（Post@net）の利用について】

本学では出願において、受験ポータルサイト「**Post@net**（ポスタネット）」を使用します。

Post@netでは、「新規登録」または「アカウント作成」ボタンからアカウントを新規登録の上出願すると、出願状況や受験票の印刷、合否照会や入学手続の一部をWeb上で行うことができ、大学からのメッセージの受取りや、出願・手続スケジュールも確認することができます。

出願に当たっては、Post@netでのアカウントの新規登録が必須となります。



登録はこちらから
<https://home.postanet.jp/>

STEP1

事前準備

- ①Post@netに新規登録してください。
- ②出願に必要な書類（10ページ参照）、本人写真データ（ファイル形式：JPEG）をご用意ください。
- ③@postanet.jpと@ferris.ac.jpの両方からメールが受信できるよう、あらかじめ設定をしておいてください。
出願登録完了後・入学検定料納入後に確認メールが送信されます。

STEP2

Web出願サイトにアクセス

本学公式サイト（<https://www.ferris.ac.jp/admission/>）より、Web出願サイトにアクセスしてください。

STEP3

出願情報を入力

志望する入試種別、研究科・専攻等を選択してください。
入学検定料も確認できます。

STEP4

個人情報を入力

画面の案内に沿って、入力してください。
※住所は日本国内かつ郵便物を確認できる住所を入力してください。

STEP5

出願内容の確認

入力した出願情報（STEP3）と個人情報（STEP4）について、確認してください。

STEP6

写真のアップロード

本人写真データ（ファイル形式：JPEG）を出願登録画面の案内に沿ってアップロードしてください。

- ※3MBを超える写真は登録できません。
- ※本人写真データは、画面上でサイズを調整して登録することができます。
顔がはっきり写るよう、適宜調整してください。
- ※出願写真として適切でないと判断された場合（制服での撮影等）は、再度提出になることがあります。
- ※入学が許可された場合は、学生証の写真として使用します。

❗使用不可な写真の一例

- | | | |
|----------|------------------|---------------|
| × 制服での撮影 | × 3か月以上前に撮影 | × 顔の一部が切れている |
| × 不鮮明である | × 髪で目や顔の輪郭が隠れている | × 画像に加工を施している |



STEP7

出願登録完了

入学検定料支払（コンビニ・Pay-easy）のため決済番号が発行されるので、画面を印刷するか、各番号（オンライン決済番号、お客様番号、確認番号、払込票番号等）をメモしてください。

※出願登録完了後、入学検定料の支払い前に登録内容の誤りに気づき、変更したい場合は、既に登録した出願情報を放棄し、もう一度最初から出願登録を行ってください。

STEP8

入学検定料支払方法の選択

下記のいずれかの支払方法を選択してください。

- コンビニエンスストア
（セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストアー、セイコーマート）
- 金融機関ATM (Pay-easy)
- クレジットカード
（VISA、master card、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club）

各支払方法の詳細は、Post@netの「学校一覧」から本学の「はじめに」ボタンをクリックして確認してください。

※入学検定料納入後の志望専攻・入試種別の変更・追加は認めません。

※入学検定料とは別に、1回の出願ごとに支払手数料が発生します。また、ご利用の銀行によって、別途事務手数料が発生する可能性があります。

※コンビニエンスストア、金融機関ATM (Pay-easy) で支払った際の領収書、ご利用明細票は大切に保管してください。

※如何なる場合も本学から領収書の再発行はいたしません。

STEP9

必要書類の郵送

宛名ラベルを印刷し、角形2号（240mm×332mm）の市販の封筒に貼付してください。

宛名ラベルは、Post@netの「出願内容一覧」から「出願内容を確認」ボタンを選択した後に、ダウンロードが可能となります。

封筒には次の必要書類を封入し、簡易書留速達で郵送してください。

※宛名ラベルが印刷できない場合は封筒の裏面に、入試種別・出願登録番号・氏名（漢字・カタカナ）・本人連絡先住所・電話番号を記入してください（宛名ラベルを貼付する場合は、記入不要）。

「入学試験必要書類在中」と封筒左下に朱書きの上、下記の書類送付先に郵送してください。

封入する 必要書類

- 出願資格を証明する書類（卒業・修了（見込）証明書等）
- その他必要書類（※10ページ）

書類送付先 <簡易書留速達>

〒245-8650
横浜市泉区緑園4-5-3 フェリス女学院大学 入試課

STEP10

出願手続完了

[STEP1]～[STEP9]をすべて出願期間内に完了することによって、出願が正式に受理され、受験票（交付については12ページをご覧ください。）が発行されます。

出願登録・入学検定料支払い・出願書類提出のいずれかが行われなかった場合は、出願を受け付けられません。

出願の期限については、「出願期間」を十分に確認の上、余裕をもって出願してください。

2. 必要書類

提出する必要書類は以下のとおりです。

書類名	注意事項	
履歴・経歴書〈所定用紙〉	所定用紙内の指示を読んで、記入してください。	
必要書類封入チェックリスト〈所定用紙〉	封入する書類にチェックを入れ、署名の上、同封してください。	
卒業・修了（見込）証明書	出願資格に該当する出身学校が発行したものを提出してください。 〈卒業・修了見込みの者〉 出願前3ヶ月以内に発行された卒業・修了見込み証明書及び成績証明書	
成績証明書	〈すでに卒業・修了している者〉 出願前3ヶ月以内に発行された卒業・修了証明書及び成績証明書	
選考資料(1)	研究計画書 パソコンで作成した研究計画書（A4サイズ横書き）に表紙〈所定用紙〉を添付し、左上をホチキス留めしてください。 【国際交流（後期課程）のみ】 次の①～④の事項を含む研究計画書（A4サイズ横書き）を作成し、〈所定用紙〉に貼付すること。 ①研究課題 ②希望する指導教授 ③指導教授の研究業績と志願者の研究課題との関連（具体的に記述すること。） ④研究計画（A4サイズ横書き 4,000字程度。先行研究・作業仮説・解明されるべき課題・研究方法・3年間の研究プログラム等、具体的に記述すること。）	
選考資料(2) ※秋期日程・春期日程 入試志願者のみ 〈論文・レポート・資料はコピー可〉	人文科学 (前期課程)	専攻しようとする分野に関する卒業論文、又は専攻しようとする分野に関する論文（12,000字程度） いずれの場合も3部提出。 ※英語英米文学専攻の場合、英語の論文も可（A4サイズ横書きダブルスペースで20枚程度）。
	国際交流 (前期課程)	研究テーマに関連するレポート（A4サイズ横書き8,000字程度） 卒業論文のテーマが大学院における研究課題と関連している場合は、卒業論文又は卒業論文準備のためのレポートをもってこれに代えることができます。 いずれの場合も3部提出。
	音楽	論文、口述試験資料 ①専攻しようとする分野に関する論文又はレポート2部 ※字数は4,000字程度又はそれ以上。卒業論文でも可。 ②上記①のほか、作曲作品や制作作品の提示を希望する者は、自己解説等を添えて提出することができます。 ※今後の研究に関連するもので、最近2年間に創作・制作したものに限りです。 ※音楽（音声のみ）作品はCD-R、映像作品はDVD-R、BD-Rで提出も可。 ただし、一般的な家電（AV機器）で再生可能な形式で作成し、ファイナライズ処理を施したメディアを提出してください。
	音楽 (外国人留学生のみ)	選考資料とあわせて、次のいずれかの日本語力に関する証明書類を提出してください。 日本語能力試験の「認定結果及び成績に関する証明書」（原本） 日本留学試験の「成績確認書」（コピー） 日本語教育機関等が作成する日本語力に関する証明書（任意様式）
	人文科学 (後期課程)	専攻しようとする分野に関する修士論文、又は専攻しようとする分野に関する論文（12,000字程度） いずれの場合も3部提出。 なお、公にした学術論文・調査報告等の研究業績がある場合は、参考資料として添付することができます。 ※英語英米文学専攻の場合、英語の論文も可（A4サイズ横書きダブルスペースで20枚程度）。
国際交流 (後期課程)	研究業績〈研究テーマに関連するレポート（A4サイズ横書き12,000字程度）〉 修士の学位取得後3年以内で、修士論文テーマが博士課程における研究課題と関連している場合は、修士論文をもってこれに代えることができます。 いずれの場合も3部提出。なお、公にした学術論文・調査報告等の研究業績がある場合は、参考資料として添付してください。	
選考資料(3) ※秋期日程・春期日程 入試志願者のみ 〈提出は任意〉	全専攻・課程	外部機関による外国語運用能力試験の成績証明書 〈試験実施機関発行のもの。コピー可〉 研究計画書や論文・レポートのほかに、口述試験の選考資料のひとつとして提出することができます。ただし、自分の研究に関係する言語とします。 ※本学インテンシブ・コースの修了証についても可とします。なお、修了証の紛失等の場合は、入試課までお問合せください。
住民票の写し(原本。コピー不可)又は 在留カードのコピー	外国人 留学生のみ	在留カードは、A4サイズの用紙で、 両面をそれぞれ150%に拡大コピーしたものを 提出してください。
パスポートのコピー		A4サイズの用紙で、氏名、顔写真、旅券番号等の記載があるパスポートのページをコピーしたものを提出してください。

3. 出願上の注意

- (1) 出願を受理した後は、理由の如何を問わず、入学検定料は返還しません。
- (2) 入学検定料納入後の志望専攻の変更は認めません。
- (3) 同日に行われる他の入学試験との併願はできません。
- (4) 身体の障がい等により、通常の受験が困難な場合及び入学後の就学について特別な配慮を必要とする場合は、大学院(学内推薦・秋期日程)入試受験者は2024年9月13日(金)、大学院(春期日程)入試受験者は2024年12月6日(金)までに入試課にご相談ください。なお、事前相談のため、必要に応じて診断書等の提出を求める場合があります。
- (5) 出願資格を証明する書類に虚偽の記載等不正があった場合又は出願資格に該当しない事実が判明した場合は、受験を認めません。また、合格発表後に判明した場合は、合格を取り消します。
- (6) 2025年3月末までに、卒業見込みの者が卒業できなかった又は修士の学位取得見込みの者が学位を取得できなかった等、入学資格を満たせなかった場合は、入学許可を取り消します。

4. 書類提出上の注意

- (1) 必要書類は、**黒色のボールペン**（消せるボールペンは不可）を使用し、志願者本人が楷書で正確に記入してください。記入する必要書類は、すべてA4サイズ片面で印刷してください。
- (2) ※印の欄は記入しないでください。その他は記入もれがないよう注意してください。
- (3) 記入を間違えた場合は、=(二重線)を引いて印鑑を押し、余白に正しく書き直してください。
- (4) 記入上、疑問な点がある場合には、入試課に問い合わせてください。
- (5) 証明書類と現在の姓が異なる場合は、改姓を証明する書類（戸籍記載事項証明書又は戸籍抄本）を添付してください。
- (6) 消印のないものは受理しません。また、受理した後は、原則として必要書類は返却しません。

日本語又は英語以外の言語で記載された証明書・資料等には、出身校又は公的機関等（日本語教育機関も可）の証明を受けた日本語又は英語の訳文を添付してください。

Ⅲ. 受験票・受験上の注意

1. 受験票の交付 ※受験票の郵送はありません。

受験票は志願者全員の入学試験必要書類受付処理後、一括してPost@netにて通知します。

受験票は、Post@netの「出願内容一覧」より各自でダウンロードし、印刷して試験当日持参してください。

※A4サイズの白色コピー用紙で印刷してください。カラー・白黒は問いません。なお、表面・裏面ともに一切の書き込み等を禁止します。

受験票の通知予定日

大学院入学試験（学内推薦） 大学院入学試験（秋期日程）	2024年11月21日（木） 午前
大学院入学試験（春期日程）	2025年2月21日（金） 夕方

2. 試験当日の注意

(1) 試験会場（緑園キャンパス）までの経路、所要時間等を事前によく確認してください。開場は、午前9時です。

※山手キャンパスでは試験を実施しません。

(2) 試験室案内は、試験当日に掲示します。その際、座席番号で指示します。

(3) 受験票は、必ず携帯し、試験会場へ入構の際、受付で受験票を提示してください。

(4) 受験票を当日持参しなかった場合は、本人が受付に申し出てください。

(5) 試験会場には、受験者及び共演者・伴奏者以外の立入を禁止します。

(6) 駐車場は使用できませんので、車による試験会場への入構は禁止します。

(7) 本学では宿泊施設の斡旋は行いません。

(8) 昼食が必要な場合は、各自で用意してください。食堂は営業していません。

3. 試験室・試験時間における注意

(1) 試験時間割に従って指定された各試験等をすべて受験しなければなりません。指定された試験を1つでも受験しなかった場合は、選考の対象外となります。

(2) 試験室内及び試験時間中は、すべて監督者・係員の指示に従ってください。病気又は事故のあった場合は、監督者・係員に申し出てください。

(3) 試験時間中に監督者が写真照合（本人確認）を行います。マスクを着用している場合、一時的に外すよう監督者が指示することがあります。

筆記試験について

解答の記入に当たっては、正確かついねいに記入してください。数字や英字等が判読できない場合は、採点の対象となりません。

また、指定されていない問題を解答した場合も採点しません。

(1) 試験室では、受験票と筆記用具、時計のみを机の上に置き、その他の持ち物は指定された場所に置いてください。

(2) 試験時間中に使用が認められるものは、HBの黒鉛筆（和歌や格言等が印刷されているものを除く。）、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、時計（時刻表示以外の機能を有するもの、及びその有無が判別しづらいものは不可）のみです。

※一部の入試では辞書の持ち込みを可としています（「選考方法」参照）。辞書については、いずれも一般的な書籍とし、電子辞書、電子手帳、その他電子機能付き物品の持ち込みは認めません。なお、辞書を忘れた場合、本学からは一切貸し出しません。

(3) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、必ずアラームや通知等の設定を解除し、電源を切って、かばんに入れておいてください。

(4) 試験時間中、使用を認められていないもの（下敷き、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、携帯音楽プレーヤー等の電子機器類、参考書等）をかばんにしまわず、身に付けたり、手に持ったり、机の上に置いたり、使用したりしてはいけません。

(5) 耳せんは、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。

(6) 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。

(7) ティッシュペーパー、ハンカチ、座布団、ひざ掛け、目薬を使用したい場合は、監督者に確認してください。

(8) 試験開始後20分を過ぎると試験室に入室できません。

口述試験について

- (1) 集合時刻までに、試験当日指示する集合場所に入室し、着席してください。
- (2) 口述試験の試験順は座席番号順とは別に定めます。
- (3) 点呼・誘導は座席番号で行います。
- (4) その他詳細については、試験会場内での指示に従ってください。

音楽研究科に関する注意

- (1) 口述試験のプレゼンテーションにおいて演奏による発表を行う場合は、試験直前に音出し等の準備のための控室（練習室）使用を認めます。使用時間は5分程度で、希望者全員同一時間とします（詳細は試験当日に指示）。
- (2) 共演者・伴奏者は、出願時に届け出てください。
- (3) 本学教職員、助手及び副手を共演者・伴奏者とすることは認めません。
- (4) 共演者・伴奏者は、試験当日、受験者の受験票（コピー可）を携行し、入構の際には、受付で提示してください。
- (5) 受験者が、他の受験者の共演者・伴奏者となっても、試験時間に関する配慮はしません。
- (6) 共演者・伴奏者の集合時間は受験生の口述試験集合時間と同一です。

4. 不正行為

次のいずれかに該当する場合、不正行為となることがあります。不正行為とみなされた場合、失格となり、選考の対象外となります。

- (1) 受験者以外の者が、試験を受けること。
- (2) カンニング（試験の教科・科目に関するメモやコピー等を机上に置いたり見たりすること、参考書の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
- (4) 監督者・係員の指示なく、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (5) 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めたこと。
- (6) 試験終了の指示に従わず、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- (7) 使用を認められていないものを指示された場所に置かず、身に付けたり、机上に置いたり、使用したりすること。
- (8) 試験時間中に、使用を認められていない機器の音を鳴らすこと。
- (9) 他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (10) 監督者・係員の指示に従わないこと。
- (11) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

5. その他

天候不順、交通機関の大規模な混乱等不測の事態が発生した場合は、試験時間等を変更することがあります。その場合は、本学公式サイトやPost@netで情報をお伝えします。

試験当日の連絡先

入試課 045-812-9183

【感染症に関する注意事項】

試験当日、学校において予防すべき感染症（学校保健安全法施行規則の規定によるインフルエンザ、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘等）にかかり、治癒等による出席停止の期間が経過していない受験者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

ただし、症状により医師等において伝染の恐れがないと認めたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。

Ⅳ. 合格発表・入学手続

1. 合格発表

発表方法

- (1) Post@netの「出願内容一覧」から「合否結果照会」ボタンをクリックして確認してください。
- (2) 「合格通知書」の郵送は行いません。合格者は、Post@netから合格通知書をダウンロードし、各自で印刷の上、保管してください。
- (3) Post@netの掲載は、合格発表日の12：00からです。

注意事項

- (1) 合格者には、Post@netの「合否結果照会」ページに「入学の手引き」及び「入学手続時納付金振込用紙」を掲載します。詳細は「2. 入学手続」を参照してください。
- (2) 電話等による合否問い合わせ及び合格通知書の大学窓口での交付には、一切応じられません。
- (3) Post@netの「合否結果照会」ページにおける誤操作・見間違い・使用機器の不具合・通信障害等を理由とした入学手続期間の延長は認められないので、十分注意してください。

2. 入学手続

合格者は、

①入学手続時納付金の納入

②入学手続情報の入力・入学前手続書類の提出

を所定の期間内に行ってください。

入学手続に関する詳細は、Post@netの「合否結果照会」ページに掲載する「入学の手引き」に記載します。

なお、上記①及び②を完了した時点で、入学を許可します。

①入学手続時納付金の納入

納入方法：金融機関（ゆうちょ銀行【郵便局】を除く。）窓口振込のみ

「入学手続時納付金振込用紙」〈本学所定様式〉を使用し、期限までに納入してください。一括で入学手続時納付金を納入してください。期間内に納入手続が行われないと、入学の意思がないものとみなし、入学を許可しません。

延納（手続期間の延長）、決められた方法以外の納入はできません。

「入学手続時納付金振込用紙」の郵送は行いませんので、Post@netの「合否結果照会」ページからダウンロードし、各自で印刷してください。

②入学手続情報の入力・入学前手続書類の提出

入学手続時納付金の納入とあわせて、入学手続情報の入力・入学前手続書類の提出を決められた期間内に済ませてください。

「入学前手続書類」を含む入学手続関係書類の郵送は行いませんので、Post@netの「合否結果照会」ページに掲載する「入学の手引き」を参照してください。

V. 学生納付金

1. 博士前期課程

人文科学研究科・国際交流研究科

		本学卒業生	本学卒業以外の者
入学金	(入学手続きのみ)	120,000円	200,000円
学納金	授業料 (基本額) (前期分)	260,000円	
	施設設備費 (前期分)	100,000円	150,000円
その他諸経費	学会費 (2年分)	5,000円	
	学生教育研究災害傷害保険料 (2年分)	1,750円	
入学手続き時納付総額		486,750円	616,750円
1年次後期納付金 (授業料 (基本額) + 施設設備費)		360,000円	410,000円
1年次納付総額		846,750円	1,026,750円
2年次納付総額 (授業料 (基本額) + 施設設備費)		720,000円	

【備考】

施設設備費については、2年次に200,000円（前期100,000円、後期100,000円）の納入となります。

<長期履修学生：国際交流研究科>

		本学卒業生	本学卒業以外の者
入学金	(入学手続きのみ)	120,000円	200,000円
学納金	授業料 (基本額) (前期分)	130,000円	
	施設設備費 (前期分)	50,000円	100,000円
その他諸経費	学会費 (4年分)	10,000円	
	学生教育研究災害傷害保険料 (4年分)	3,300円	
入学手続き時納付総額		313,300円	443,300円
1年次後期納付金 (授業料 (基本額) + 施設設備費)		180,000円	230,000円
1年次納付総額		493,300円	673,300円
2年次以降年間納付総額 (授業料 (基本額) + 施設設備費)		360,000円	

【備考】

施設設備費については、2年次・3年次・4年次にそれぞれ100,000円（前期50,000円、後期50,000円）の納入となります。

2. 修士課程

音楽研究科

		本学卒業生	本学卒業以外の者
入学金	(入学手続きのみ)	140,000円	250,000円
学納金	授業料 (基本額) (前期分)	307,500円	
	施設設備費 (前期分)	100,000円	150,000円
その他諸経費	学会費 (2年分)	10,000円	
	学生教育研究災害傷害保険料 (2年分)	1,750円	
入学手続き時納付総額 (基本額)		559,250円	719,250円
(基本額)	1年次後期納付金 (授業料 (基本額) + 施設設備費)	407,500円	457,500円
	1年次納付総額	966,750円	1,176,750円
	2年次納付総額 (授業料 (基本額) + 施設設備費)	815,000円	

【備考】

①授業料は、実技レッスンの履修に応じ、授業料（基本額）に次の選択PA科目実技料を加えた額とします。

選択PA科目 実技レッスン	1 実技レッスンにつき	150,000円
選択PA科目 特別実技レッスン	1 実技レッスンにつき	50,000円

②施設設備費については、2年次に200,000円（前期100,000円、後期100,000円）の納入となります。

3. 博士後期課程

人文科学研究科・国際交流研究科

		本学大学院修了者	本学大学院修了以外の者
入学金	(入学手続きのみ)	0円	200,000円
学納金	授業料（基本額）（前期分）	260,000円	
	施設設備費（前期分）	100,000円	150,000円
その他諸経費	学会費（3年分）	7,500円	
	学生教育研究災害傷害保険料（3年分）	2,600円	
入学手続き納付総額		370,100円	620,100円
1年次後期納付金（授業料（基本額）＋施設設備費）		360,000円	410,000円
1年次納付総額		730,100円	1,030,100円
2年次以降年間納付額（授業料（基本額）＋施設設備費）		720,000円	

【備考】

施設設備費については、2年次・3年次にそれぞれ200,000円（前期100,000円、後期100,000円）の納入となります。

4. その他

(1) 注意事項

- ① 入学金は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 1年次後期（10月～3月）以降の納付金は、預金口座からの口座自動振替による納入を原則としています。（口座振替手数料は本人負担）
- ③ 人文科学研究科・国際交流研究科の博士前期課程において本学卒業以外の者、博士後期課程において本学大学院修了以外の者は、在籍期間中にフェリス女学院大学同窓会りてらの終身会費30,000円を別途徴収します。
音楽研究科の修士課程において本学卒業以外の者は、在籍期間中にフェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループの終身会費30,000円を別途徴収します。
- ④ 社会経済事情に応じて、学生納付金の額が変動することがありますのでご了承ください。

(2) 私費留学生授業料等減免制度

本学では、私費留学生の経済的負担を軽減し、学修に集中できるよう支援することを目的として、授業料や施設設備費を減免する制度を用意しています。

入学年度前期から減免を希望する場合は、次の手続きが必要です。

- (1) 合格通知確認後、入学手続き期間中の決められた期間に申請書類を大学に提出の上、書類審査・面接審査を受けてください。
- (2) 上記(1)の面接を受けるに当たり、選考面接予約フォーム（Googleフォーム）から面接日時を予約してください。
- (3) 申請書類の審査及び面接による選考の上、減免採用者を決定します。結果は面接日当日又は翌日に国際課から通知されます。
採用者は、決定した入学手続き納付総額を期限までに納入してください。

入学翌年度以降は、学業成績及び主たる家計支持者の年収に基づき、申請書類及び面接による選考の上、採用を決定します。

(3) 寄付金について

フェリス女学院では、入学後に寄付金を募集します（任意）。なお、入学前の募集は行っていません。

VI. 入学手続後の入学辞退

入学手続時納付金納入手続完了後に入学を辞退したい場合、次の期間に書面をもって申し出た方には、入学手続時納付総額から入学金を除く納付金を返還します。詳細は「入学の手引き」に記載します。

入学辞退申出期間

大学院入試（学内推薦・秋期日程）	2025年1月6日（月）～3月31日（月）最終日14:00必着
大学院入試（春期日程）	2025年3月5日（水）～3月31日（月）最終日14:00必着

VII. 修了要件等

1. 博士前期課程・修士課程

(1) 標準修業年限

2年（在学期間は、4年を超えることができない。）

※長期履修制度（国際交流研究科）の場合は4年

（在学期間は、8年を超えることができない。また入学後、修業年限を変更することはできない。）

(2) 課程の修了

人文科学研究科	[1] 在学期間 2年以上在学すること。 [2] 修得単位数等 ①「修士論文指導」を含む所定の授業科目を30単位以上修得すること。 ② 修士の学位申請論文（修士論文）の審査及び最終試験に合格すること。
国際交流研究科	[1] 在学期間 2年以上在学すること。長期履修学生は4年以上在学すること。 [2] 修得単位数等 ①「修士論文指導」または「修了レポート指導」を含む所定の授業科目を30単位以上修得すること。 ② 修士の学位申請論文（修士論文）又は特定の課題についての研究の成果（「修了レポート」2編）の審査及び最終試験に合格すること。
音楽研究科	[1] 在学期間 2年以上在学すること。 [2] 修得単位数等 ①「修士研究指導」を含む所定の授業科目を30単位以上修得すること。 ② 修士研究（修士制作及び修士副論文、又は修士論文）の審査及び最終試験に合格すること。

(3) 学位授与

本学大学院において博士前期課程又は修士課程を修了した者に対して、授与する修士の学位は以下のとおりとする。

人文科学研究科 修士（文学） **国際交流研究科** 修士（国際交流） **音楽研究科** 修士（音楽）

2. 博士後期課程

(1) 標準修業年限

3年（在学期間は、6年を超えることができない。）

(2) 課程の修了

大学院に5年以上（修士課程又は博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者については、その2年を含む。）在学し、「博士論文指導」を含む所定の授業科目を42単位以上修得し、博士の学位申請論文の審査及び最終試験に合格すること。

<参考>フェリス女学院大学大学院学則 第8条第2項

修士課程又は博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者が、当該課程と同種の専攻の博士後期課程に入学した場合は、前項に規定する当該課程当該専攻の授業科目のうち30単位をすでに修得したものとみなす。

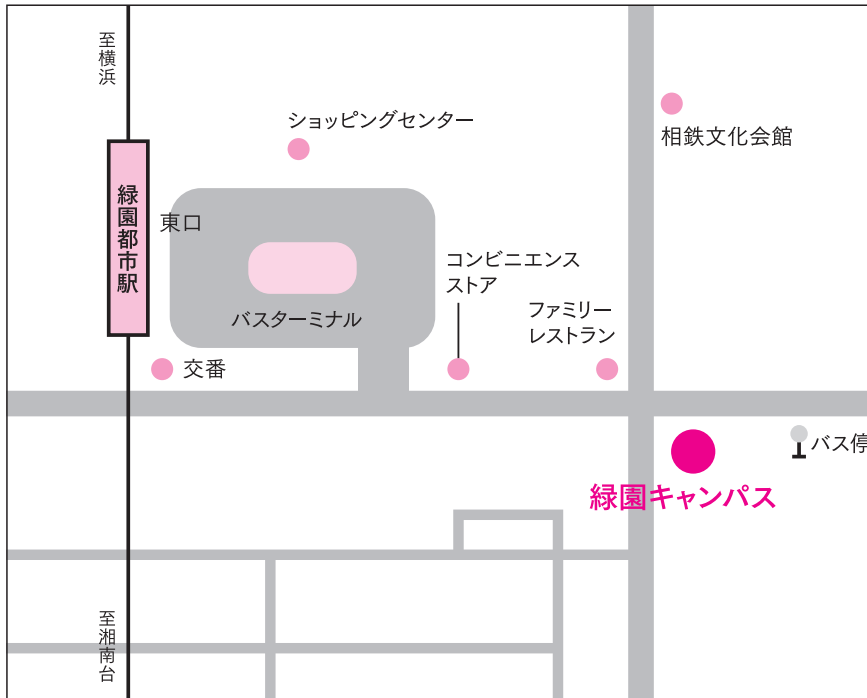
(3) 学位授与

本学大学院において博士後期課程を修了した者に対して、授与する博士の学位は以下のとおりとする。

人文科学研究科 博士（文学） **国際交流研究科** 博士（国際交流）

VIII. 試験会場

緑園キャンパス



〒 245-8650 横浜市泉区緑園 4-5-3

- 相鉄いずみ野線：「緑園都市」駅下車徒歩約3分
※特急は「緑園都市」駅に停車しません。
 - ①横浜駅発(快速湘南台行)
→「緑園都市」駅着(20分～25分)
 - ②横浜駅発(特急又は急行・海老名又は大和行)
→「二俣川」駅乗り換え(湘南台行)
→「緑園都市」駅着(20分～25分)
 - ③海老名駅又は大和駅発(横浜行)
→「二俣川」駅乗り換え(湘南台行)
→「緑園都市」駅着
(海老名駅から約25分、大和駅から約15分)
 - ④湘南台駅発(各停又は快速横浜行)
→「緑園都市」駅着(12分)
- 相鉄新横浜線：
相鉄いずみ野線「緑園都市」駅徒歩約3分
※特急は「緑園都市」駅に停車しません。
 - ①新横浜駅発(湘南台行)
→「緑園都市」駅着(約25分)
 - ②新横浜駅発(海老名行・大和行又は西谷行)
→「西谷」駅乗り換え(各停又は快速湘南台行)
→「緑園都市」駅着(20分～25分)
- JR横須賀線：
「東戸塚」駅東口から神奈中バス緑園都市駅行で、
「フェリス女学院」下車徒歩約1分(約15分)

三つのポリシー

		ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)	アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)
人文科学研究科	英語英米文学専攻	<p>博士前期課程</p> <p>英語英米文学の領域における高度な専門知識と研究方法を修得し、多様化する社会に専門的見地から社会人・職業人として貢献できる証として、修士論文を提出し、かつ最終試験(口頭試問)に合格した者に対して「修士(文学)」の学位を授与する。</p>	<p>英米文学、英米文化、英米歴史・社会及び英語学など、英語英米文学の広範囲の領域に関する研究科目(コースワーク)及び演習科目(リサーチワーク)を適切に組み合わせたカリキュラムを設置する。少人数制の専門教育や修士論文指導をとおして高度な専門的知識や研究方法を修得し、社会人・職業人として社会に貢献できる高度な能力及びその基礎となる豊かな教養を養う。</p>	<p>英語英米文学の領域に対する関心とその研究を進めるために必要な知識と能力を有し、多様化する社会に専門的見地から社会人・職業人として貢献しようとする意欲を持つ者を受け入れる。</p>
		<p>博士後期課程</p> <p>英語英米文学の領域において自立した研究者として必要とされる高度な専門知識と研究方法・技法を修得し、多様化する社会に専門的見地から職業人・研究者として貢献できる証として、独創的な見地で新たな研究領域を開拓した博士論文を提出し、かつ最終試験(口頭試問)に合格した者に対して「博士(文学)」の学位を授与する。</p>	<p>英米文学、英米文化、英米歴史・社会及び英語学など、英語英米文学の広範囲の領域に関する研究科目(コースワーク)及び演習科目(リサーチワーク)を適切に組み合わせたカリキュラムを設置する。少人数制の専門教育や博士論文指導をとおして高度な専門的知識や研究方法を修得し、職業人・研究者として社会に貢献できる高度な能力及びその基礎となる豊かな教養を養う。</p>	<p>英語英米文学の領域に対する関心とその研究を進めるために必要な高度な専門知識と研究方法・技法を有し、多様化する社会に専門的見地から職業人・研究者として貢献しようとする意欲を持つ者を受け入れる。</p>
		<p>博士前期課程</p> <p>日本語日本文学に関する体系的知識と高度な研究方法を身に付け、先行研究の蓄積をふまえ、明確な根拠と一貫した論理性を備えた、論旨の明快な修士論文を提出し、かつ最終試験(口頭試問)に合格した者に対して、「修士(文学)」の学位を授与する。</p>	<p>日本語日本文学各分野の広範囲の領域に関する研究科目(コースワーク)及び演習科目(リサーチワーク)を適切に組み合わせたカリキュラムを設置する。少人数制の専門教育や修士論文指導をとおして高度な専門的知識や研究方法を修得し、社会人・職業人として社会に貢献できる高度な能力及びその基礎となる豊かな教養を養う。</p>	<p>日本語日本文学の領域に対する関心とその研究を進めるために必要な知識と能力を有し、多様化する社会に専門的見地から社会人・職業人として貢献しようとする意欲を持つ者を受け入れる。</p>
		<p>博士後期課程</p> <p>日本語日本文学に関する深い学識を身に付け、論証に必要な専門的情報を自主的に収集・処理し適切に立論された、独創的な発想で新たな研究領域を開拓した博士論文を提出し、かつ最終試験(口頭試問)に合格した者を、自立した研究者とみなして「博士(文学)」の学位を授与する。</p>	<p>日本語日本文学各分野の広範囲の領域に関する研究科目(コースワーク)及び演習科目(リサーチワーク)を適切に組み合わせたカリキュラムを設置する。少人数制の専門教育や博士論文指導をとおして高度な専門的知識や研究方法を修得し、職業人・研究者として社会に貢献できる高度な能力及びその基礎となる豊かな教養を養う。</p>	<p>日本語日本文学の領域に対する関心とその研究を進めるために必要な高度な専門知識と研究方法・技法を有し、多様化する社会に専門的見地から職業人・研究者として貢献しようとする意欲を持つ者を受け入れる。</p>
		<p>博士前期課程</p> <p>コミュニケーション学の領域における高度な専門知識と研究方法・技法を修得し、「社会」「心理」「文化」「言語」「ジェンダー」の専門領域を背景とし、多様化する社会にその専門的見地から社会人・職業人として貢献できる能力を持つ者で、修士論文を提出し、かつ最終試験(口頭試問)に合格した者に対して、「修士(文学)」の学位を授与する。</p>	<p>コミュニケーション学の領域において、多文化・共生コミュニケーションの視点に立脚し、「社会」「心理」「文化」「言語」「ジェンダー」の専門領域を背景とした研究科目(コースワーク)及び演習科目(リサーチワーク)を適切に組み合わせたカリキュラムを設置する。少人数制の専門教育や修士論文指導をとおして高度な専門的知識や研究方法を修得し、社会人・職業人として社会に貢献できる高度な能力及びその基礎となる豊かな教養を養う。</p>	<p>コミュニケーション学の領域に対する関心とその研究を進めるために必要な知識と能力を有し、多様化する社会に専門的見地から社会人・職業人として貢献しようとする意欲を持つ者を受け入れる。</p>
		<p>博士後期課程</p> <p>コミュニケーション学の領域において、自立した研究者として必要とされる高度な専門知識と研究方法・技法を修得し、「社会」「心理」「文化」「言語」「ジェンダー」の専門領域を背景とし、多様化する社会にその専門的見地から職業人・研究者として貢献できる能力を持つ者で、独創的な発想で新たな研究領域を開拓した博士論文を提出し、かつ最終試験(口頭試問)に合格した者に「博士(文学)」の学位を授与する。</p>	<p>コミュニケーション学の領域において、多文化・共生コミュニケーションの視点に立脚し、「社会」「心理」「文化」「言語」「ジェンダー」の専門領域を背景とした研究科目(コースワーク)及び演習科目(リサーチワーク)を適切に組み合わせたカリキュラムを設置する。少人数制の専門教育や博士論文指導をとおして高度な専門的知識や研究方法を修得し、職業人・研究者として社会に貢献できる高度な能力及びその基礎となる豊かな教養を養う。</p>	<p>コミュニケーション学の領域に対する関心とその研究を進めるために必要な高度な専門知識と研究方法・技法を有し、多様化する社会に専門的見地から職業人・研究者として貢献しようとする意欲を持つ者を受け入れる。</p>
国際交流研究科	国際交流専攻	<p>博士前期課程</p> <p>国際交流の領域における高度な専門的見識・能力と、グローバル化の時代にふさわしい、専門分野の枠を越えた総合的知識を身に付け、国際社会のさまざまな場面で社会人・職業人として独創性・創造性ならびに優れた判断力を発揮できる者に「修士(国際交流)」の学位を授与する。</p>	<p>国際交流の領域に関する理論及び応用を教授する「グローバル化研究」「グローバル化と地域社会」「グローバル化と日本の3研究群を置き、各自のテーマに即して選択する研究群の科目(コースワーク)により研究を進めさせる。さらに、文献や資料、現実の体験や理解によって研究を裏付けるための演習科目(リサーチワーク)を置き、研究をより確かなものとする。また、修士論文指導や修士レポート指導をとおして高度な専門的知識や研究方法を修得させる。選択した研究群以外の他の2研究群にも目を配り、専門分野の枠を越えた総合的知識を獲得させ、社会人・職業人として必要な国際社会に関わる専門的見識と高い教養を養う。</p>	<p>国際交流の領域に対する関心とその研究を進めるために必要な知識と能力を有し、多様化する社会に専門的見地から社会人・職業人として貢献しようとする意欲を持つ者を受け入れる。</p>
		<p>博士後期課程</p> <p>国際交流の領域において、自立した研究者として必要とされる高度な専門的見識・能力とグローバル化の時代にふさわしい、専門分野の枠を越えた総合的知識・考察力を身に付け、国際社会のさまざまな場面で職業人・研究者として独創性・創造性ならびに優れた判断力を発揮できる者に「博士(国際交流)」の学位を授与する。</p>	<p>国際交流の領域に関する高度な理論及び応用を教授する「グローバル化研究」「グローバル化と地域社会」「グローバル化と日本の3研究群を置き、各自のテーマに即して選択する研究群の科目(コースワーク)により研究を進めさせる。さらに、現実の体験や理解によって研究を裏付けるための演習科目(リサーチワーク)」「グローバル化研究特別演習」「国際交流実務研修」を置く。また、博士論文指導をとおして高度な専門的知識や研究方法を修得させる。専門知と実践知を統合し、専門分野の枠を越えた総合的知識・考察力を獲得させ、職業人・研究者として必要な国際社会に関わる高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養う。</p>	<p>国際交流の領域に対する関心とその研究を進めるために必要な高度な専門知識と研究方法・技法を有し、多様化する社会に専門的見地から職業人・研究者として貢献しようとする意欲を持つ者を受け入れる。</p>
音楽研究科	音楽芸術専攻	<p>修士課程</p> <p>音楽文化の領域における高度な専門知識および実践技術と研究方法を修得し、社会のニーズにあった音楽活動をするのみならず、芸術に理解ある社会の創造に社会人・職業人として貢献できる能力をもつ者に「修士(音楽)」の学位を授与する。</p>	<p>音楽文化の広範囲の領域に関する研究科目(コースワーク)及び演習科目(リサーチワーク)を適切に組み合わせたカリキュラムを設置する。少人数制の専門教育や修士論文指導をとおして高度な専門的知識や専門技術、研究方法を修得し、社会との接点を持つ実践的科目及び専攻分野を横断する学際的科目を置くことにより、現代社会で活動するために必要となる高度な実践的能力を養う。また、より専門性の高い知識や理論、高度な表現技術を身に付けることができるように、選択科目として、少人数の専門研究科目及び個人レッスンやアンサンブル科目を置く。</p>	<p>音楽文化および音楽表現の領域に対する関心とその研究を進めるために必要な知識・技術と能力を有し、多様化する社会に専門的見地から社会人・職業人として貢献しようとする意欲を持つ者を受け入れる。</p>

問い合わせ先
(直通)

- ◇ 入試全般について 入試課 TEL.045-812-9183
- ◇ 学生生活について 学生課 TEL.045-812-9127
- ◇ 留学について 国際課 TEL.045-812-9129
- ◇ カリキュラムについて 教務課 TEL.045-812-9118
- ◇ 学納金・入学辞退時返還金について 総務課 TEL.045-812-8211

平日
月曜日～金曜日
9:00～18:00
※授業期間外は
上記によらない
場合があります。

フェリス女学院大学 入試課